

日本小児外科学会
令和2年度第1回定例理事会

日時:令和2年6月24日(水)11:00~16:00

会場:大阪大学東京オフィス

出席者:田尻達郎(理事長)、増本幸二(副理事長)、山高篤行(会長)、越永従道(理事・次々期会長)、臼井規朗、金森 豊、野田卓男、浮山越史、大植孝治、田中 潔(以上理事)、窪田正幸、八木 實(以上監事)、藤野明浩(庶務委員長)、浦尾正彦(財務会計委員長)、上原秀一郎(財務会計副委員長)、照井慶太(庶務副委員長)、宮野 剛(庶務委員)、家入里志(施設認定委員会委員長)、菱木知郎(専門医認定委員会委員長)、古村 眞(専門医制度庶務委員会委員長)、廣部誠一(第36回秋季シンポジウム会長)、仁田尾慶太、登坂早百合(以上事務局)

欠席者:黒田達夫(理事・次期会長)、山田洋平(庶務委員候補)

議事案件:

議 事:

1. 第1回定例理事会の議事録署名人は増本幸二副理事長、臼井規朗理事とした。
2. 令和元年度第8回定例理事会議事録につき全会一致にて承認された。
3. 審議事項

1) 第57回学術集会について(山高会長・宮野庶務委員)

山高会長・宮野庶務委員より資料に基づき、進捗状況が報告され承認された。

- ・Web参加者の質問者からの質問は、ハウリングなどのリスクがある為チャットのみとした。
- ・ポスターセッションは会場を再度、確認したところ大きな窓があり換気が確保できそうなので会場開催を可能と判断し現地で行う事とした。部屋を多くとり三密にならないよう図面を変更している。
- ・海外招待講演については現在の状況を鑑みて招待しない方向で進めている。

Lally 先生(名誉会員):名誉会員の表彰は来年の学術集会で行う事となった。黒田先生も了承済み。

Arnaud 先生:ご本人は飛行機次第で来日したいとおっしゃっている。今のところレクチャーをWeb上で行ってもらう予定。時差もあるので時間調整中。
日本での夕方にイブニングセッションとして行う予定。

Puri 先生:すべてキャンセル予定。

- ・プログラムについては現在8月上旬に確定予定だが、もう少し予定を早められそう。NPO 臨時総会などの件に関してもキャンセルのあった時間などに行えるよう最終調整を行っている。

- ・参加登録費については、20,000 円に上げさせていただいたが、会員懇親会の有無も係わってくると考えるので、場合によっては 18,000 円も考えている。会員懇親会が無いと参加者が減少する恐れもある為、何らかの形で行う方針で進めている。
- ・アプリの件については現地の参加者がメインで使用することになると考えられるがあると便利なので採用の方向で進めている。
- ・人数は会場規模の半数、会場ごとに人数を制限していくことを検討している。
- ・座長、演者両者 Web でも学術集会の事務局に操作してもらおうので問題ないと考えているが一度リハーサルをする方向となった。
- ・7月の理事会で大体の概要を固める方向となった。

日時：令和2年9月19日（土）、20日（日）、21日（月祝）

会場：都市センターホテル

テーマ：小児医療システムの擁護と支援：子供が最初、いつだって

2) 第 58 回学術集会について(田尻理事長)

黒田次期会長が欠席のため田尻理事長より、会長付き庶務委員は第 57 回学術集会が終わるまでは 2 名体制で進めると報告された。

日時：令和3年4月28日（水）、29日（木）、30日（金）

会場：パシフィコ横浜ノース

テーマ：自然の臣たるなかれ

3) 第 36 回秋季シンポジウムについて(廣部秋季シンポジウム会長)

廣部秋季シンポジウム会長より資料に基づき、進捗状況が報告され承認された。

- ・6/1 に学会のホームページ、会員の周知メール等にシンポジウムは完全 Web 開催と PSJM の各研究会は、1 年延期することを伝えた。
- ・指定演者による Web 講演を予定。
- ・11 月の一定期間開催し、自宅から繰り返し視聴できるように準備している。
- ・参加証を発行し、専門医取得や更新の要件として認められるようにする。
- ・会計監査の関係上、表記を NPO 法人とした。
- ・参加費は統一で 10,000 円の予定。
- ・演題数は 25 演題程度を予定。
- ・抄録数は日本小児外科学会雑誌 10 月号に掲載予定。印刷するプログラムは作成しない方向。
- ・会計については今までの費用を 5 月で区切って、6 月から秋季シンポジウム単独の会計になるよう調整している。
- ・5 月までの費用は概算で 150 万円程度。
- ・キャンセル料については発生しない可能性が高い。費用全体の半分は秋季シンポジウム

が負担。残り半分は5つの研究会で分担を考えている。

- 協賛についてはWeb開催なのでランチョンセミナー等はキャンセルの連絡をしている。オンデマンド配信の広報と寄付の2種類を募集している。再度、企業・各研究会にも協力を依頼している。
- PSJM2020の各研究会と審議し1年、延期を決定するにあたり研究会の中で会長が変更になるところがある。
日本小児呼吸器外科研究会：金森豊先生から黒田達夫先生
直腸肛門奇形研究会：黒田達夫先生から内田恵一先生
- オンデマンド配信について、live中継はせず配信のみ質問は受け付けて、後から表示するやり取りになる予定。

日時：令和2年11月7日（土）

会場：Webにて実施予定

テーマ：手術の新しいデバイスと工夫

4) 第37回秋季シンポジウムについて(金森次期秋季シンポジウム会長)

金森次期秋季シンポジウム会長より、進捗状況が報告され承認された。

- 昨今の状況から、PSJMと今後合同で行えるのか各研究会と相談していく方向。
- 資金集めが難しくなっているため、製薬メーカーに頼らない方法を考える必要がある。
- 田尻理事長から、今後もwebを併用していくことも一つの開催方法であると提案が出された。
- PSJMとして単独で開催するのも一つの方法として挙げられ、総合調整委員会でPSJMの代表世話人や会長をお招きして、話し合う機会を設けられることが検討された。

日時：令和3年10月30日（土）

会場：ベルサール神田

テーマ：小児外科疾患に対する再生医療・細胞療法研究と応用

5) 第38回秋季シンポジウムについて(野田次々期秋季シンポジウム会長)

野田次々期秋季シンポジウム会長より、進捗状況が報告され承認された。

日時：令和4年10月29日（土）

会場：岡山コンベンションセンター

テーマ：小児外科治療後のサルベージ

6) 各種委員会報告および審議事項

(1) 庶務委員会(藤野委員長)

藤野委員長より、資料に基づき報告がなされた。

令和2年3月末現在の会員数は、評議員を除く正会員1,695名（うち海外3名）、評議員323名、名誉会員57名（うち海外7名）、特別会員68名（うち海外1名）の合計2,143名であると報告された。

(2)財務会計委員会(浦尾委員長)

浦尾委員長より資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・秋季シンポジウムや学術集会の事業について、主催が一般社団法人なのか特定非営利活動法人なのかを徹底してもらおう。
- ・ホームページに掲載する寄付・広告募集などの規約の草案が出来、規約委員会に確認してもらおう。
- ・広告の値段について、ある程度決めていきたい（12万円くらい）。

(3)専門医制度委員会(家入里志施設認定委員会委員長、菱木知郎専門医認定委員会委員長、古村 眞専門医制度庶務委員会委員長)

家入里志施設認定委員会委員長、菱木知郎専門医認定委員会委員長、古村 眞専門医制度庶務委員会委員長より資料に基づき、進捗状況が報告され承認された。

まず田尻理事長より以下のことが報告された。

6/10 に外科学会とサブスペシャリティの間で協議がもたれ、結果は完全に足並みをそろえるのは難しく、各サブスペシャリティの方針に従って外科学会が連動していく方針となった。そのため日本小児科学会として、今後の方針を専門医制度委員会から報告してもらうこととなった。

菱木知郎専門医認定委員会委員長より以下のことが報告された。

- ・手術実績は2019年12月31日までの実績がカウントされるため、影響はほぼないと考えられ、今年に関しては特別な対応は行わない。
- ・学術業績は専門医・指導医ともに、学会発表が申請資格に含まれる複数の主要学会が秋まで延期となった。本来2020年8月末までに行われるはずだった学会での発表を学術業績に加える予定でいた会員が資格条件を満たせなくなる可能性があるため、申請締め切りは例年通り8月31日とするが、学会参加および学会発表業績についてのみ12月31日までのものを審査の対象として追加できることとした。
- ・2021年以降の専門医認定業務についてはコロナ禍によって、多くの施設が手術や入院の制限を受けている。その結果、2021年以降の更新の際に、必要とされる手術数条件を満たせない会員がいる可能性があり。また来年以降も手術制限・入院制限を強いられる可能性は低くないため来年以降の新規・更新申請に関しては、今後のコロナ禍の状況を踏まえて検討することとした。

家入里志施設認定委員会委員長より以下のことが報告された。

- ・施設認定委員会の審査委員会、再審査委員会は予定通り行う方針。
- ・手術実績は新規・更新ともに個人申請同様2019年12月31日までの実績がカウントされるため、今年に関しては影響はほぼないと考えられ特別な対応は行わない。

- ・2021年以降の施設認定業務への対応については、専門医認定委員会同様に条件を満たせない施設が出てくることが予想される。現状では日本小児外科学会の施設認定および更新にあたり、過去3年間の症例カウント期間に2020年を含む場合は、カウント期間を延長(4年)することを含めた対策を検討しているが、今後の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて検討を継続することとする。

電子投票について

- ・専門医制度委員会の規則の中で改定しないといけない箇所が出てくるはずなので、直近では必要ないが、今後、藤野庶務委員長と検討していく方針となった。

(4)機関誌委員会(大植担当理事)

大植担当理事より、今回特に報告事項が無い旨を述べられた。

(5)国際・広報委員会(田尻担当理事)

田尻担当理事より以下の点について報告がなされ、承認された。

- ・セントルイス大学小児病院インターナショナルフェローの募集についての掲載依頼があり、学会ホームページに掲載した。今後はこれをきっかけに学会内で推薦してフェローを出していくようなシステムについても検討する予定。

(6)保険診療委員会(浮山担当理事)

浮山担当理事より資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・日本医学会で頼まれた資料(医療上必要不可欠であって、汎用され安定確保が求められる医薬品専門領域の名称(小児外科))の作成を行い、事務局から送ることとなった。
- ・日本大腸肛門病学会からの要望書に対し、内容についてしっかり吟味しないとイケないため時間が必要。日本大腸肛門病学会の理事長が、古田委員長の関連病院にいるため相談する方針となった。

(7)教育委員会(大植担当理事)

大植担当理事より以下の点について報告がなされ、承認された。

- ・学会雑誌に延期のお知らせを載せる。
- ・教育セミナーにてe-learning使用の可能について委員会内で検討することとなった。

(8)悪性腫瘍委員会(大植担当理事)

大植担当理事より、今回特に報告事項が無い旨を述べられた。

(9)学術・先進医療検討委員会(臼井担当理事)

臼井担当理事より、今回特に報告事項が無い旨を述べられた。

(10)倫理・医療安全管理委員会(野田担当理事)

野田担当理事より資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・医療事故調査支援センターの協力学会担当リストについて、数年ごとに名簿を更新する必要性が考えられるため、業務の一環として検討していく方針。

(11)データベース委員会(田中担当理事)

田中担当理事より以下の点について報告がなされ、承認された。

- ・本年度の小児外科 NCD データ使用計画の申請の採用を 3 件にする予定だったが、NCD 事務局の解析担当者から労務的に厳しいと連絡があり、2 件とした。データベース委員会で 2 件を選択した。その 2 件に対し利益相反委員会から問題無しの回答であったが、研究倫理委員会からいくつか指摘事項があり、微調整をしてもらってから理事会メンバーに資料を送付し、次回理事会で審議することとなった。

(12) 小児救急検討委員会(田中担当理事)

田中担当理事より資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・新型コロナウイルス感染症パンデミックの収束に向けた外科医療の提供に関する提言—日本小児外科学会からの追加提言を作成したと報告があり理事会メーリングリストで内容を確認し、異議がない場合は、最終版をホームページに掲載することとした。

(13) トランジション検討委員会(田中担当理事)

田中担当理事より資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・アンケートは学術・先進医療検討委員会から確認が取れ、理事会でも確認済みとなった。

(14) ワークライフバランス検討委員会(浮山担当理事)

浮山担当理事より以下の点について報告がなされ、承認された。

- ・外科学会に学術集会の発表者を依頼中。もし、断られた場合は「ワークライフバランス検討委員会の歩み」を発表する予定。

(15) 規約委員会(金森担当理事)

金森担当理事より、今回特に報告事項が無い旨を述べられた。

(16) 研究倫理委員会(野田担当理事)

野田担当理事より資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・本年度の小児外科 NCD データ使用計画の申請の採用について、具体的な問題点は無かったが、研究計画書の倫理的な記載について具体的な方法を明記してもらった方がよいと報告がされた。

(17) NCD 連絡委員会(臼井担当理事)

臼井担当理事より資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・NCD 事務局に依頼したデータ抽出作業の見積もりについて、具体的な解析年度を加えて再度、見積もりをもらったところ、増額あったが発注することとなった。
- ・NCD-P2020 の登録については、開始しているが特に問題はない。
- ・2019 年度症例の NCD 登録の締め切りは、前倒しになったが影響は特になかった。

(18) ガイドライン委員会(金森担当理事)

金森担当理事より以下の点について報告がなされ、承認された。

- ・新規のガイドラインのリストをホームページ掲載。

(19) 利益相反委員会(金森担当理事)

金森担当理事より以下の点について報告がなされ、承認された。

- ・本年度の小児外科 NCD データ使用計画の申請の採用について具体的な問題点は無かつ

たと報告があった。

(20) 総合調整委員会(増本委員長)

増本委員長より、今回特に報告事項が無い旨を述べられた。

(21) 日本外科学会理事会(田尻理事長)

田尻理事長より資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・参考資料を追加資料に載せたので学術集会などに参考として使ってほしい。
- ・外科学会の学術集会では一つのセッションに2つの会場を用意し、時間がオーバーしても次のセッションが定刻通り行われるよう対策を行っている」と報告があった。

(22) 四者協関連(田尻理事長)

田尻理事長より、今回特に報告事項が無い旨を述べられた。

7) 役員及び専門医制度委員会委員選出に関する規定改定について(田尻理事長・藤野庶務委員長)

田尻理事長および藤野庶務委員長より資料に基づき、進捗状況が報告され承認された。

(1) 評議員選挙について

- ・評議員選挙の日程を確定させるため、それに伴う細則の変更を行う必要があり日程の確定は次回の理事会を予定。
- ・前回の評議員選挙は、会員・選挙システムの使用が12月までに限られていたので、それに伴い定款施行細則(当時NPO)を変更して選挙を行った。
- ・今回はNPO・一社、両方成立している状態であり一社の施行細則を変更する必要がある。
- ・今後の流れについては、一社の施行細則は理事会で変更できるので9月までにNPOの施行細則に合わせるよう変更していく。今回の理事会で一社の施行細則の改正案を検討し、次回の理事会で改正、評議員選挙の公示文書を承認する予定。
- ・7月末に会員に細則の改正をメール・ホームページで通知。
- ・8月下旬の会誌で選挙の公示を行う。
- ・選挙の日程は、投票システムが完成していないため、これから決める方針。
- ・臨時評議員会は9/25頃を予定。
- ・有権者名簿の告知を10月の頭にメールで通知。その異議申し立てを11/5までとし、締め切りのリマインドは10/29にメールで通知。
- ・評議員立候補の受付は11/5に締め切りとする。
- ・その後、第2回選挙管理委員会をへて、11/10に候補者名簿、確定有権者名簿などを告知。
- ・評議員選挙投票は12/17までとする。
- ・12/21開票し、年内に結果メールを通知。
- ・上記の流れは、NPOの施行細則に則っているため、一社の施行細則もこちらに合わせる方針。

- ・ NPO の施行細則の改定は、NPO 評議員会の議決が必要。
- ・ 第 25 回評議員選挙の公示の承認については、次回の理事会で一般社団法人施行細則が承認してから検討することとなった。
- ・ 施行細則（一社では第 16 条改訂案）に抽選と記載があるが、記載の必要性を含めて次回の理事会までに検討していく方針となった。

(2) 役員選挙について

- ・ 今後は他の選挙も電子投票で行うことも踏まえて、役員選挙の電子投票のことも考える必要がある。役員選挙の電子投票は、次の学術集会の前に終わらせないといけないので、評議員選挙は今年中に終わらせてしまえば、役員電子投票も年明け以降に開始出来る。そのためには一社の施行細則を変更する必要がある。
- ・ また、理事の人数も一社・NPO で統一していく方向。NPO 定款を一社に合わせる方針となった。
- ・ 役員選挙に関して NPO・一社両方とも修正する必要がある。NPO に関しては、評議員会を開催する必要があるため 9 月に臨時評議員会を行う必要がある。
- ・ また、9 月の評議員会にて NPO の施行細則の変更も、理事会で行えるよう変更する予定。
- ・ NPO 定款も変更する必要があるため、臨時総会も必要となる。時間は多くかからないので予定を見ながら開催する方向となった。

8) 新庶務委員(会長付)について(田尻理事長)

田尻理事長より山田洋平先生が新庶務委員(会長付)に決まったので、しばらくは会長付き庶務委員は 2 人で参加してもらおう形になることが報告された。

4. 報告事項

1) 理事長報告(田尻理事長)

- (1) 第 1 回メール審議報告(第 36 回秋季シンポジウムの現地開催中止のお知らせについて、全会一致にて承認されたことが報告された。
- (2) 難病のこども支援全国ネットワークからの寄贈本「がんばれ! Vol. 179」を受領した。
- (3) 神奈川県医師会からの寄贈本「神奈川医学会雑誌 第 47 巻 第 1 号」を受領した。
- (4) 日本製薬工業協会からの寄贈本「製薬協ニューズレター No196」を受領した。
- (5) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No. 371」を受領した。
- (6) 日本医療安全調査機構からの寄贈本「令和元年度協力学会説明会資料」を受領した。
- (7) 日本小児科医会からの寄贈本「日本小児科医会会報 第 57 号」を受領した。
- (8) 日本小児科医会からの寄贈本「日本小児科医会ニュース No68・2019」を受領した。
- (9) 日本医療安全調査機構からの寄贈本「医療事故調査・支援センター 2019 年年報」を受領した。
- (10) 日本小児科医会からの寄贈本「日本小児科医会会報 第 58 号」を受領した。

- (11) 日本小児科医会からの寄贈本「日本小児科医会ニュース No69・2020」を受領した。
- (12) 日本医療安全調査機構からの寄贈本「大腸内視鏡検査等の前処置に係る死亡事例の分析」を受領した。
- (13) 日本医療安全調査機構からの寄贈本「肝生検に係る死亡事例の分析」を受領した。
- (14) 日本医師会からの寄贈本「日本医師会 平成三十年の歩み」を受領した。
- (15) 医学中央雑誌刊行会からの寄贈本「医学中央雑誌 収録誌目録」を受領した。
- (16) 厚生労働省からの寄贈本「輸血療法の実施に関する指針」の一部改正について」を受領した。
- (17) 厚生労働省からの寄贈本「血液製剤に係る遡及調査ガイドライン」の一部改正について」を受領した。
- (18) 日本医療機能評価機構からの寄贈本「NEWS LETTER 5月号」を受領した。
- (19) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No. 372」を受領した。
- (20) 難病のこども支援全国ネットワークからの寄贈本「がんばれ! Vol.180」を受領した。
- (21) 日本小児神経学会からの寄贈本「学術集会の国際化に関するアンケート調査結果について」を受領した。
- (22) 日本製薬工業協会からの寄贈本「製薬協ニューズレター No197」を受領した。
- (23) 日本がん治療認定医機構からの寄贈本「『JBCT ニュース』 vol.7」を受領した。
- (24) 女性医師支援センターからの寄贈本「令和2年度 医学生、研修医等をサポートするための会」の開催について」を受領した。
- (25) 日本医師会からの寄贈本「第 XVI 次生命倫理懇談会答申の送付について」を受領した。
- (26) 日本小児科医会からの寄贈本「日本小児科医会会報 第59号」を受領した。
- (27) 日本医師会からの寄贈本「対談集 和のこころ」を受領した。
- (28) 本庄福島病院からの通信文「会長・理事長就任のあいさつ」を受領した。
- (29) 日本医学放射線学会からの通信文「理事長退任・就任のあいさつ」を受領した。
- (30) 「日本医学会 e-News No.1」の発行について」を受領した。
- (31) 「令和2年度新型コロナウイルス感染症に関する研究助成募集開始のご案内」を受領した。
- (32) 「COVID19 出口戦略の提言(JSS)」を受領した。
- (33) 「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」等の一部改正について」を受領した。
- (34) 「レギュラトリーサイエンス戦略相談に関する実施要綱の一部改正について」を受領した。
- (35) 「国際医療機器規制当局フォーラム(IMDRF)による医療機器サイバーセキュリティの原則及び実践に関するガイダンスの公表について」を受領した。
- (36) 「再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則等の一部を改正する省令の施行について」を受領した。

2) 専門医制度両委員長の選任について(田尻理事長)

田尻理事長から専門医制度両委員長の選任について報告がされた。

施設認定委員会委員長：米田光宏先生から家入里志先生

専門医認定委員会委員長：小野滋先生から菱木知郎先生

3) その他の報告

・次回以降の理事会日程を確認し、以下のように決定した。会場に来ることが難しい場合には Web での参加も可能とし、会場の人数制限の関係上、副委員長は WEB 上で参加してもらう方針となった。会場は京都・東京会場とし、アラートがでた場合は完全 web 会議とすることとなった。

第2回 令和2年7月22日(水) 11:00~16:00

第3回 令和2年9月18日(金) 14:30~18:30 (学術集会)

第4回 令和2年11月4日(水) 11:00~15:00 (15:00~秋季シンポジウム委員会)

第5回 令和3年1月13日(水) 11:00~16:00

第6回 令和3年3月3日(水) 10:00~16:00

第7回 令和3年4月27日(火) 10:00~14:00 (学術集会)

・新事務局担当者として、学会支援機構の登坂早百合氏より挨拶があった。

4) 次回定例理事会日程の確認(田尻理事長)

次回定例理事会は令和2年7月22日(水)11:00~16:00 京都府立医科大学小児外科教授室または大阪大学東京オフィスにて開催することが確認された。

理事長

副理事長

理事